

電子線利用研究施設 研究課題申請書	
提出年月日(    年    月    日)	
申請代表者	所属・職・氏名:
連絡担当者	所属・職・氏名:
	電話・E-mail:
研究課題名	
新規課題 / 継続課題 (開始年度:        年度 前期/後期)	
他の主な共同利用者の所属・職・氏名	
利用する光源	自由電子レーザー      テラヘルツ光      パラメトリック X 線 波長又はエネルギー:
総利用時間数	(        )時間 × (        )回
利用実験室	
使用料支出元: 教室割当金    実験実習費    学外組織    科研費    その他(        )	
実験時期・時間割当の希望等:	

申請書は PDF ファイルにして E-mail か、またはプリントして FAX あるいは郵送で電子線利用研究施設の事務室に提出願います。

電子線利用研究施設: 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1 日本大学理工学部船橋校舎

電話 047-469-5489 FAX 047-469-5490 E-mail: adm.lebra.office@nihon-u.ac.jp

利用目的: (継続課題の場合は、進捗状況を記載)

実験計画・内容・方法等:

生命倫理、人権の保護、法令等の遵守への対応:

(動物委員会の審議等が必要な試料や実験手法を用いる場合は、その情報を記載してください。)

研究課題名・代表者名  
公開の可否

可・否 ( 事由:

)

## 記入上のご注意

申請書の記入・提出に際しては下記に留意してください。

1. 総利用時間数には、申請する研究課題で2年以内に利用したい、1回当たりのおよその時間と、実験回数を、(〇〇時間×△△回)の形式で記入してください。
2. FEL、THz、PXRでは電子線形加速器の調整運転にかかる時間が異なるため、実験開始時刻が異なりますが、通常は概ね正午前後からとなります。原則として午後8時までには実験を終了していただきます。申請を行う際の実験計画ではこの利用時間を参考にお願いします。
3. FEL、THz、PXRの同時利用は出来ません。現在の環境では、基本的には1週間交代でFELかPXR(またはTHz)のどちらかを利用することが出来ます。利用する光源を○で囲んでください。
4. 利用実験室が確定していない場合には、この欄は空白で結構です。
5. 加速器本体室、モジュレーター室、PXR及びTHzの利用実験室はそれぞれ放射線管理区域内にあります。加速器ビームを直接利用する実験やPXR/THzを利用する実験を実施するためこれらの部屋に立ち入る方は、予め当施設の放射線障害防止教育訓練を受け、理工学部船橋校舎庶務課に申請し放射線業務従事者として登録されている必要があります。
6. 使用料金が発生する場合に、支出出来ない学内予算等がありますので、予定している支出元を○で囲むか、支出元予算の名目を記入してください。
7. 利用目的及び実験計画・内容・方法については、当施設で実施する課題として適切かを運営委員会において判断が出来るよう配慮して記入してください。
8. 電子線利用研究施設では、動物委員会等で生命倫理や人権保護に関わる事柄を審査することはできません。所属の委員会等で必要な手続きを行うことを計画に明記してください。
9. 原則として、採択された研究課題名および代表者名(所属機関名を含む)については施設Web等で公開します。公開を希望しない場合は、可否欄に非公開とする理由をお書きください。それ以外の個人情報および研究に関する情報は、課題採択の審査および施設からの通知・連絡にのみ利用します。
10. 申請書をE-mailで提出する際にはPDF形式の添付ファイルで提出してください。